

市民一人ひとりに陽があたり 誇り輝く新時代を先駆ける上田を 市民の皆さまとともにつくってまいります

はじめに

私は、市のさらなる発展を願う多くの皆さまからの力強いご支援とご支持を賜り、引き続き、上田市長として市政を担わせていただくことになりました。

私に課せられた責任の重大さを痛感しつつ、市民の皆さまの負託に応え、魅力あふれる上田市の実現に向け、全身全霊を注ぎ邁進していく決意を新たにしているところであります。

資源循環型施設と有機物リサイクル施設建設について

これまでの4年間、資源循環型施設建設事業を市政の最優先課題として、建設候補地の地元住民の皆さまとの対話を重視し、着実に進めてきましたが、2期目においてもその歩みを緩めることなく進める覚悟です。

市長に就任し、上田地域広域連合長として再選した4月9日には、地元諏訪部自治会および資源

循環型施設建設対策連絡会の皆さまへご挨拶に伺い、再選したこの節目において、役員の方々に直接ご挨拶できたことは一歩前進であったと感じています。

対策連絡会の皆さまとは、引き続き、安全・安心な施設および地域のまちづくりの協議を継続することを確認するとともに、建設候補地周辺地域の皆さまとの信頼関係を築きながら事業を進めることをお約束しました。

今後は、安全・安心な施設に加え「地域のまちづくり」に関する協議が本格化することから、地域住民の皆さまとの信頼関係を大切にすることを第一に、資源循環型施設の熱エネルギーの活用など循環型社会構築に向けた検討を踏まえ、公約に掲げた「日本を代表する循環型社会をつくる」ことを目指し、資源循環型施設の早期建設に向けて着実に歩を進めてまいります。

生ごみを堆肥化し、地域利用を進めるため整備する「有機物リサイクル施設」については、現在、

ことで、市民一人ひとりが、生涯のうちに健康で過ごせる期間である「健康寿命」の延伸を目指し、生涯現役で活躍できる都市「健康都市うへだ」の実現を図ってまいります。

「教育・子育て環境・文化の充実を促進する」取組

子育て家庭を取り巻く環境は、子どもの貧困や「ヤングケアラー」など新たな課題が顕在化するとともに、感染症の影響もあり、家事や育児などに対して不安や負担を抱えながら子育てを行う家庭が増加していると感じています。

このようなことから、子育て家庭に対し、直接的な訪問型の支援が必要であることから、家庭が抱える不安や悩みを傾聴するとともに、家事や育児などの支援を行う「子育て世帯訪問支援事業」を実施してまいります。

行政管理課 23・5163



5月20日、内閣府でのSDGs未来都市選定証授与式
(写真右：野田地方創生担当大臣、写真左：土屋市長)

建設候補地の九子地域の陣場地区において昨年度から周辺環境の現況調査を行っており、引き続き、地域の皆さまと調査結果の情報を共有し、ご理解をいただきながら、丁寧な計画を進めてまいります。

新型コロナ対策と即効性のある社会経済対策

新型コロナワクチンについては、60歳以上の方、または、18歳以上で基礎疾患をお持ちの方などへの4回目の接種を、6月中旬から地元医師会のご協力のもと開始する予定です。希望する方がスムーズに接種できるよう、関係機関と連携を取りながら、体制を整えてまいります。

長期化するコロナ対策や原油価格・物価高騰などに対する市独自の事業者支援としては、「上田市売上減少事業者一斉支援事業交付金」の交付、ならびに新たに設置した「事業復活支援金申請サポートセンター」における相談会を実施しております。国において原油価格・物価高騰等総合緊急対策を

「大切な市民の命を守り続ける医療体制の充実を推進する」取組

市では、令和4年4月1日時点で100歳以上となる方が、153人となり、人生100年時代の到来が現実のものとなっています。この時代を先取りし、健康で生きるための取組は、ますます重要になると思われまます。

4月1日から「上田市人生100年時代をより良く生きる健康づくり条例」が議員提案により制定され、施行されていますが、この条例では「健幸都市うへだ」の実現にあたっての基本理念をお示

しいただくとともに、市の責務、議会の責務、市民の役割など、それぞれの役割分担を明確にさせていただきました。私も思いを同じくするところであり、議会の皆さまと一体となって健康施策を進めてまいります。

市民の皆さまには、医療機関の機能に応じた適切な受診をしていただくことも必要であることから、正しい受診方法などの啓発を行い、積極的な周知を図るとともに、特定健診やがん検診などの受診により、ご自身の体の状態を知っていただくことが大切です。市では、市民の皆さまが生活習慣の改善や詳しい検査などを必要とした場合に、適切な医療や指導につなげ、病気の早期発見や重症化予防となるよう取り組んでまいります。こうした取組を進めていく

また、福祉医療費給付金事業については、「児童区分」の対象を令和5年度から「18歳まで」に拡大し、子育て家庭のさらなる負担軽減を図ってまいります。

上田城跡整備については、旧市民会館跡地に「武者だまり」を整備する計画であり、今後、一帯の発掘調査を予定しています。槽の復元的整備については、現存しない槽や石垣が写っている可能性が認められる明治初年に撮影された古写真の情報提供を得たため、この画像について精細な解析を行うなど、槽の復元的整備の取組を加速化し、具体的な方向性を早急にお示しできるよう、鋭意取り組んでまいります。

「福祉を充実し、多様性を尊重した地域共生社会を実現する」取組

昨年度、社会福祉法が改正され、地域住民の複雑化・複合化した支援ニーズに対応するため、市町村において包括的な支援体制の構築や社会福祉法人などと連携した福祉サービス提供体制の整備が求められていきます。

市では、令和6年度から計画年度とする「第4次地域福祉計画」策定に向け、今年度、市民や事業所を対象とするアンケート調査を行い、市民ニーズや福祉サービス提供事業所の意見や課題を把握し、次の計画に反映してまいります。加えて、包括的な支援体制を構

築するため「地域福祉審議会」を新たに設置し、「地域共生社会」を推進するための課題の洗い出しや優先的に取り組むべき事業などについてご審議いただく予定です。

「日本を代表する循環型社会をつくる」取組

令和3年3月に「上田市地球温暖化対策地域推進計画」を策定し、地球温暖化対策として、市内全域の再生可能エネルギーの普及促進をはじめ、省エネルギー対策、交通の低炭素化や循環型社会の形成などを推進しており、今年度は「上田市のゼロカーボン戦略」の位置付けとして、市の地球温暖化対策計画などの改訂を進めるとともに、市民や事業者の皆さまを含めた「上田市ゼロカーボンシティ実現市民会議」の設置を進め、「2050ゼロカーボンシティうへだ」を目指してまいります。

「人と自然が調和した活力あるまちをつくる」取組

最先端技術活用プロジェクトを具体化するため策定した「上田市スマートシティ化推進計画」は、IoTやAIなどの先進技術を活用することで市民サービスの向上や産業振興などにつながるよう、公共交通キャッシュレス化をはじめ、シェアサイクル、スマート農業などの各分野において実証実験に取り組んでまいりました。

このような中、デジタル田園都市国家構想推進交付金について「デジタル技術を活用した窓口サービスなどの利便性の向上」「ICT技術を活用した河川の情報収集と防災管理システムの構築」「キャッシュレス決済導入による地域公共交通活性化事業」および「公立保育園ICT化による保護者満足度向上事業」の4事業について採択されました。

今後についても、DXの推進により行政手続の簡素化や事務改善などの効率化を図り、市民ニーズに即した行政サービスの向上を目指すとともに、GXの取組も視野に入れながら、スマートシティ化、ゼロカーボンシティ化を目指して、未来につながる持続可能なまちづくりを進めてまいります。

各種ビジョンプラン

地方創生に向けた取組として、2030年までの世界共通の開発目標である「SDGs」の推進にあたり、第二次上田市総合計画「後期まちづくり計画」において、SDGsが掲げる17のゴールと、総合計画の施策を紐付けることにより、「誰一人取り残さない」持続可能で多様性と包摂性のある社会の実現を目指すこととし、後期5か年の取組を開始しました。こうした中、経済・社会・環境の三側面における新しい価値創出を通して持続可能な開発の実現

6月議会初日に提案した議案の概要

- 令和4年度補正予算(1件)
 - 一般会計(1件)
- 事件決議案(3件)
 - 消防ポンプ自動車の購入について ほか
- 報告事項(12件)
 - 専決処分した「上田市職員の育児休業等に関する条例」の一部を改正する条例の承認について ほか

施政方針はインターネットでも
ご覧いただけます。
動画・全文をご覧いただけます。

